

第 13 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会



LIFE SAVING

The 13th JAPAN NATIONAL INTERCOLLEGE POOL LIFESAVING CHAMPIONSHIP
兼 ジャパンオープン



2021 年度
大学生其々の集大成

2022.01.29 (Sat.) - 30 (Sun.) 静岡県立水泳場 (静岡県静岡市)

協賛：株式会社三洋物産 / 株式会社三洋販売
後援：スポーツ庁、静岡県、静岡市、公益財団法人日本水泳連盟、公益財団法人するが企画観光局
協力：株式会社ジャパンセル、認定特定非営利活動法人静岡県ライフセービング協会

公益財団法人 日本ライフセービング協会 〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップビル
info@jla.gr.jp FAX.03-3459-1446





公益財団法人
日本ライフセービング協会
理事長

入谷 拓哉

第13回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会兼ジャパンオープン2021を開催するにあたり、主催者を代表し、謹んでご挨拶を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の治療および看護のため、日々最前線で活動されている医療従事者の皆様、ならびに公的救助機関の皆様に敬意を表します。

昨年10月のオーシャン競技を終え、学生ライフセーバー諸氏はその総括をふまえ、仲間とともに切磋琢磨しながら懸命に練習に励んできたことでしょう。大学クラブの名を背負い出場する最後の大会として、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮して欲しいと思います。また今大会は「ジャパンオープン」を併催することで、学生ライフセーバー以外の出場機会を増やし、プール競技の競技力向上を目的としています。

ライフセービングスポーツは救助技術と体力の向上を目的に競い合い、「ゴールの先に救う生命がある」という理念を体現するものであります。その理念を心に秘め、競技者及び仲間同志が尊重し競い合うことで、その勝利はより多くの人々に称えられることでしょう。

新型コロナウイルスの影響により、昨年度の学生プール選手権は実施をすることができませんでした。2年ぶりの開催にあたり、我々を受け入れていただいた静岡市の皆様に感謝申し上げますとともに、本日ここに全国の学生ライフセーバーが集い、生命を救うスポーツとして最高の技術を競う絶好の機会となることを願ってやみません。

結びに、本大会を開催するにあたり、ご協賛賜りました株式会社三洋物産様ならびに株式会社三洋販売様、そしてご支援、ご協力賜りました関係諸機関、関係各位に対しまして衷心より感謝申し上げます。



大会概要

Overview

The 13th JAPAN NATIONAL INTERCOLLEGE POOL LIFESAVING CHAMPIONSHIP 兼 ジャパンオープン

名称	第13回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会兼ジャパンオープン The 13th Japan National Inter College Pool Lifesaving Championship / Japanopen
日程	2022年1月29日(土)～2022年1月30日(日)
場所	静岡県立水泳場(静岡県静岡市)
主催	公益財団法人日本ライフセービング協会
後援	スポーツ庁、静岡県、静岡市、公益財団法人 するが企画観光局、公益財団法人日本水泳連盟
協賛	株式会社三洋物産/株式会社三洋販売
協力	株式会社ジャパンセル、認定NPO法人静岡県ライフセービング協会

■チーム一覧

		ジャパンオープン			
青山学院大学	8名	筑波大学	4名	淡路島LSC	1名
大阪体育大学	18名	東海大学清水校舎	19名	勝浦LSC	1名
神奈川大学	3名	東海大学湘南校舎	27名	下田LSC	1名
鎌倉女子大学	1名	東京女子体育大学	21名	湘南ひらつかLSC	2名
杏林大学	17名	東洋大学	17名	銚子LC	7名
慶應義塾大学	13名	名古屋工業大学	1名	西浜SLSC	14名
国際基督教大学	2名	日本体育大学	50名	日本体育大学荏原高等学校	25名
国際武道大学	10名	日本女子体育大学	12名	用宗LSC	2名
国士舘大学	15名	日本大学	19名	湯河原LSC	2名
順天堂大学	20名	新潟産業大学	1名	横浜海の公園LSC	1名
上智大学	3名	法政大学	8名		
成蹊大学	7名	明治国際医療大学	6名		
成城大学	14名	明治大学	12名		
拓殖大学	23名	立教大学	1名		
玉川大学	1名	流通経済大学	17名		
中央大学	7名	早稲田大学	16名		
中京大学	6名				

■歴代優勝チーム

第12回	開催中止	第6回	女子 日本体育大学	2014年12月	古橋廣之進記念
			男子 日本体育大学		浜松市総合水泳場
第11回	女子 日本体育大学	2020年1月	静岡県富士水泳場	第5回	女子 日本体育大学
	男子 日本体育大学				2014年2月
第10回	女子 日本体育大学	2019年1月	静岡県富士水泳場		千葉県国際総合水泳場
	男子 日本大学			第4回	女子 日本体育大学
第9回	女子 日本体育大学	2018年1月	静岡県富士水泳場		2013年3月
	男子 日本大学				静岡県富士水泳場
第8回	女子 日本体育大学	2017年2月	宮城県総合運動公園	第3回	女子 日本体育大学
	男子 日本体育大学		総合プール		2012年2月
第7回	女子 東海大学湘南校舎	2015年11月	千葉県国際総合水泳場	第2回	女子 日本体育大学
	男子 日本大学				2011年2月
					古橋廣之進記念
				第1回	女子 日本体育大学
					2010年2月
					古橋廣之進記念
					浜松市総合水泳場
					古橋廣之進記念
					浜松市総合水泳場



タイムテーブル

TIMETABLE

The 13th JAPAN NATIONAL INTERCOLLEGE POOL LIFESAVING CHAMPIONSHIP 兼 ジャパンオープン

1月29日 (土)	開始時刻	No.	内 容	
	7:30		大会実行委員会会議	
	7:45		テクニカルオフィシャル会議	
	8:00		選手・見学入場 ウォーミングアップ	
	9:30		表彰式 (全日本SERC/全日本学生SERC選手権大会)	
	10:00	1	障害物リレー (4×50m) [オープン男女]	タイム決勝
	10:05	2	障害物リレー (4×50m) [女子]	予選
	10:15	3	障害物リレー (4×50m) [男子]	予選
	10:30		(準備)	
	10:40	4	障害物スイム (200m) [オープン男女]	タイム決勝
	10:45	5	障害物スイム (200m) [女子]	タイム決勝
	11:05	6	障害物スイム (200m) [男子]	タイム決勝
	11:30		(準備)	
	11:40	7	ラインスロー (12.5m) [オープン男女]	タイム決勝
	11:50	8	ラインスロー (12.5m) [女子]	タイム決勝
	12:05	9	ラインスロー (12.5m) [男子]	タイム決勝
	12:20		(準備)	
	12:30	10	障害物リレー (4×50m) [女子]	決勝
	12:40	11	障害物リレー (4×50m) [男子]	決勝
	12:50		(昼休憩)	
	13:45	12	マネキンキャリアー (50m) [オープン男女]	タイム決勝
	14:00	13	マネキンキャリアー (50m) [女子]	タイム決勝
	14:35		(準備)	
	14:45	14	マネキンキャリアー (50m) [男子]	タイム決勝
	15:50		(準備)	
	16:00	15	レスキューメドレー (100m) [オープン男女]	タイム決勝
	16:05	16	レスキューメドレー (100m) [女子]	タイム決勝
	16:15	17	レスキューメドレー (100m) [男子]	タイム決勝
	16:30		(準備)	
	16:40	18	スーパーライフセーバー (200m) [オープン男女]	タイム決勝
	16:55	19	スーパーライフセーバー (200m) [女子]	タイム決勝
	17:15	20	スーパーライフセーバー (200m) [男子]	タイム決勝
	17:30		競技終了	

1月30日 (日)	開始時刻	No.	内 容	
	7:30		大会実行委員会会議	
	7:45		テクニカルオフィシャル会議	
	8:00		選手・見学入場 ウォーミングアップ	
	9:30	21	マネキンリレー (4×25m) [オープン男女]	タイム決勝
	9:35	22	マネキンリレー (4×25m) [女子]	予選
	9:45	23	マネキンリレー (4×25m) [男子]	予選
	10:00		(準備)	
	10:10	24	マネキンキャリアー・ウィズフィン (100m) [オープン男女]	タイム決勝
	10:25	25	マネキンキャリアー・ウィズフィン (100m) [女子]	タイム決勝
	10:55	26	マネキンキャリアー・ウィズフィン (100m) [男子]	タイム決勝
	11:30		(準備)	
	11:40	27	マネキンリレー (4×25m) [女子]	決勝
	11:50	28	マネキンリレー (4×25m) [男子]	決勝
	12:00		(昼休憩)	
	12:50	29	メドレーリレー (4×50m) [オープン男女]	タイム決勝
	12:55	30	メドレーリレー (4×50m) [女子]	予選
	13:05	31	メドレーリレー (4×50m) [男子]	予選
	13:20		(準備)	
	13:30	32	マネキントウ・ウィズフィン (100m) [オープン男女]	タイム決勝
	13:50	33	マネキントウ・ウィズフィン (100m) [女子]	タイム決勝
	14:40		(準備)	
	14:50	34	マネキントウ・ウィズフィン (100m) [男子]	タイム決勝
	16:00		(準備)	
	16:10	35	メドレーリレー (4×50m) [女子]	決勝
	16:20	36	メドレーリレー (4×50m) [男子]	決勝
	16:30		(準備)	
	17:00		表彰式 (総合表彰のみ)	
	17:30		全体終了	



競技説明

COMPETITION GUIDE

The 13th JAPAN NATIONAL INTERCOLLEGE POOL LIFESAVING CHAMPIONSHIP 兼 ジャパンオープン

50m マネキンキャリアー

スタート後、25m地点に沈められているマネキンまで泳ぎ、引き上げた後、フィニッシュまでマネキンを運びます。

100m マネキンキャリアー・ウィズフィン

フィン装着した状態でスタート後、50m泳ぎます。折り返し地点の水中に設置されたマネキンを引き上げ、フィニッシュまでマネキンを運びます。

200m 障害物スイム

スタート地点及び折り返し地点の両壁から12.5mの地点に設置された2ヶ所の障害物の下を潜り抜け、200mを泳ぎます。

200m スーパーライフセーバー

スタート後75m泳ぎ、その後潜行をして折り返し地点から25mの所に沈められているマネキンを引き上げます。

マネキンを引き上げ、100m地点の折り返しの壁まで運びます。壁にタッチしたらマネキンを放します。

マネキンキャリアー・ウィズフィン (100m)

フィンとレスキューチューブを装着して50m泳ぎます。150m地点には、図の様にプールサイドからマネキンを保持するハンドラーが待機しています。

競技者が150m地点の壁にタッチしたら、ハンドラーはマネキンを放し、競技者はマネキンにレスキューチューブを巻いて、フィニッシュまで運びます。

100m マネキントウ・ウィズフィン

フィンとレスキューチューブを装着した状態でスタートし、50m泳ぎます。50m地点には、図の様にプールサイドからマネキンを保持するハンドラーが待機しています。

競技者が折り返しの壁をタッチしたら、ハンドラーはマネキンを放し、競技者はマネキンにレスキューチューブを巻いて、フィニッシュまで運びます。

4×50m 障害物リレー

スタート地点及び折り返し地点の両壁から12.5mの地点に設置された2ヶ所の障害物の下を潜り抜け、50m泳ぎます。これを4名でリレーしていきます。

4×25m マネキンリレー

第1競技者は水中スタート後、マネキンを運び、プールの22.5m～27.5m地点の5m間で第2競技者へマネキンを手渡します。

第2競技者はマネキンを50m地点まで運び、壁にタッチした後、第3競技者へマネキンを手渡します。

第3競技者はマネキンを運び、72.5m～77.5m地点の5m間で第4競技者へマネキンを手渡します。

第4競技者は第3競技者から受け取ったマネキンをフィニッシュまで運びます。

100m レスキューメドレー

スタート後50m泳ぎます。折り返しから17.5m地点に設置されたマネキンまで潜行し、マネキンを引き上げ残り32.5mを運びます。器材は装着しません。

12.5m ラインスロー

スタートの合図で、救助者はスローラインを巻き取り、溺者役へ向かって正しく投げ、そのスローラインにつかまった溺者役をプールの壁まで引っ張り上げます。この時、救助者は水中に入ることできません。これを制限時間45秒以内に行います。

4×50m メドレーリレー

第1競技者は50m泳ぎ、壁にタッチし第2競技者に引き継ぎます。

第2競技者はフィン装着した状態でスタート後、50mを泳ぎ壁にタッチし、第3競技者に引き継ぎます。

第3競技者はフィン装着せずに、レスキューチューブを肩にかけて50m泳ぎ、壁にタッチした後、肩掛けの部分を第4泳者へ手渡します。

第4泳者はフィン装着した状態で第3競技者から肩掛けの部分を受け取り、第3競技者がチューブにつかまった状態で50mを泳ぎます。

